

平成26年8月27日

5年生 保護者 様

平成26年度 佐賀県学力状況調査結果の分析について

小城市立小中一貫校
芦刈 観 瀾 校
校長 納 富 博文

平成26年4月22日に『全国学力学習状況調査』が行われました。この全国学力学習状況調査は、全国の小学6年生と中学3年生に実施されたものです。実施教科は「国語」「算数(数学)」の2教科で、主として「知識」を問うA問題と、主として「活用」を問うB問題による調査が行われました。また同時に、児童の生活習慣や学習環境に関するアンケート調査も行われました。また、5年生を対象に『佐賀県学習状況調査』が行われました。この佐賀県学習状況調査では、「国語」「算数」の2教科が行われました。

本校では、全職員でその結果を分析し、本校児童の全体的な傾向と今後の指導について検討いたしましたのでお知らせいたします。なお、児童一人ひとりの学習の状況につきましては、「学習状況シート」を1学期末に配布しております。また、家庭学習の時間の確保など、御家庭の協力が必要です。基本的な生活習慣の確立が学力に影響を及ぼすとも言われています。御家庭でもよろしく御指導お願いいたします。

	分析結果	今後の指導について
国語	<ul style="list-style-type: none">○県平均とほぼ同じである。○「漢字や言葉に関すること」は県平均を大きく上回り、「話すこと・聞くこと」「書くこと」はほぼ同じで、「読むこと」は大きく下回っている。○説明文の内容を決まった字数で書いたり、条件に合わせて文章を書いたりすることができていない。漢字の読み取りやローマ字の読み書きの問題は、県平均を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">○問題の意図に合った答え方ができていないので、「すすくタイム」などを活用し、題意を正確にとらえるために、問題文の大切な部分に線を引かせるなどの工夫をさせる。○言語事項については、さらに力を伸ばしていけるように、「漢字タイム」を活用し、漢字練習の継続を図っていく。また日々の作文指導で、接続語や指示語、丁寧語をうまく使っている児童の作文を紹介し、それらを意図的に使って書くように指導する。
算数	<ul style="list-style-type: none">○県平均を大きく上回っている。○観点別にみると、すべて県平均より上回っている。○全体的に学習したことをそのまま問われる問題の正答率が高いが、表現を変えた問題や文や図をしっかりと読み取らなければならない問題の正答率は低い。○問題の後半では、無回答の児童が増えている。	<ul style="list-style-type: none">○基礎的な計算や算数用語を定期的に学習する機会を設ける。○長文の問題に取り組ませ、キーワードを見つけたり、題意をとらえるための書き込みをしたりする練習の機会を設ける。○自分の考えを図、式や文章で表現する活動を常時取り入れ、学んだことを生活の中にかかしていくような課題に取り組ませていく。
生活に関する調査	<ul style="list-style-type: none">○朝食を毎日食べている児童の割合は9割を超え、県平均をやや上回っている。しかし、夜は10時までに寝ていると答えた児童が5割を切っていて、県平均を大きく下回っている。夜11時以降にまだ起きている児童も2割近くいる。○平日、休日ともに1時間以上勉強している児童の割合は7割近くおり、県平均を大きく上回っている。また、「予習・復習をする」「自分で計画を立てて勉強している」についても、県平均を大きく上回っている。	<ul style="list-style-type: none">○基本的な生活習慣については、今後も「家庭教育強化週間」を定期的実施し、重点的に家庭教育で取り組む項目(あいさつ・テレビの時間・家庭学習・家の仕事・睡眠など)について、指導を継続していく。○今後も自分で学習内容を計画して取り組める指導(自学ノート等)を継続して行っていく。